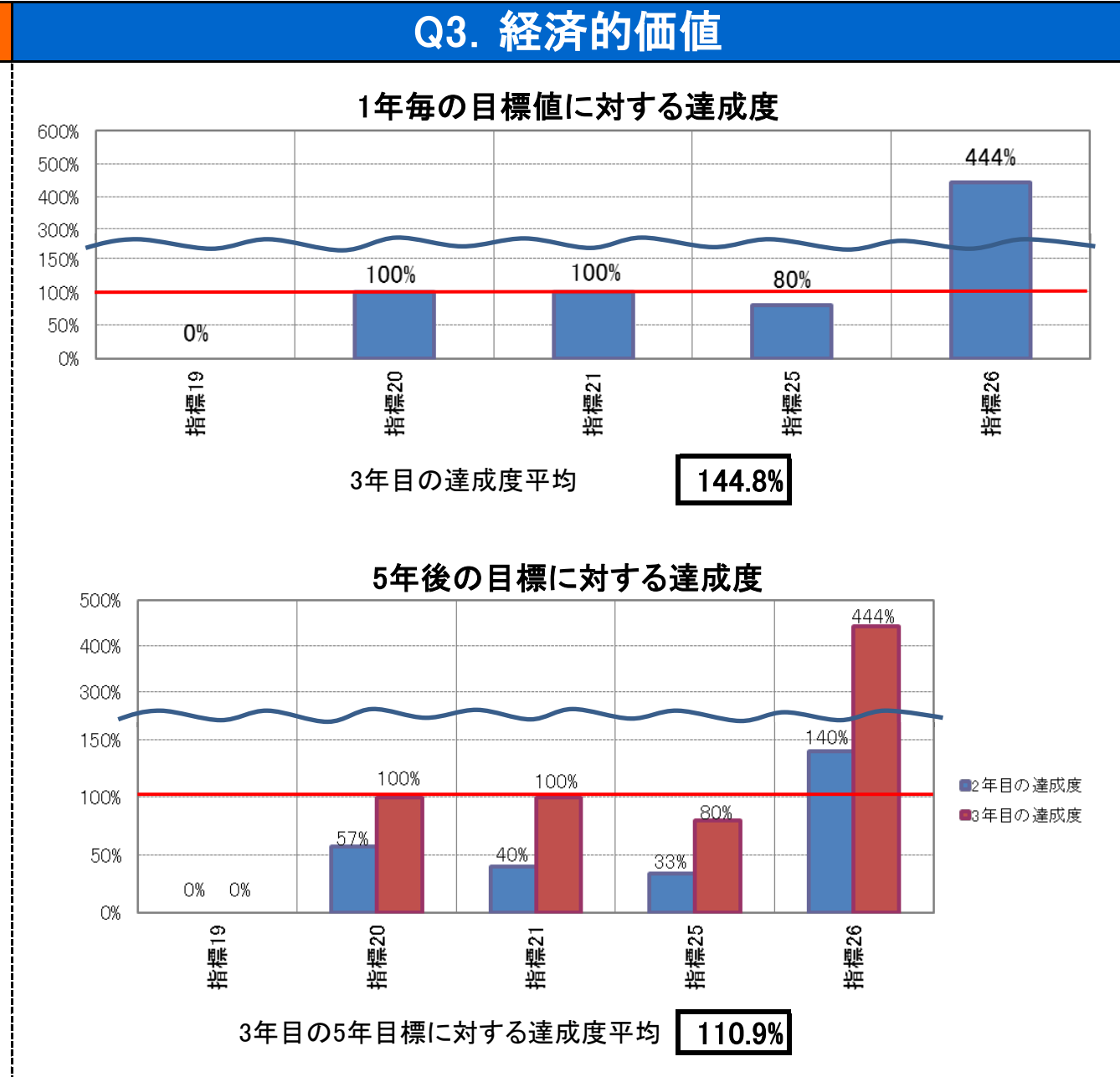
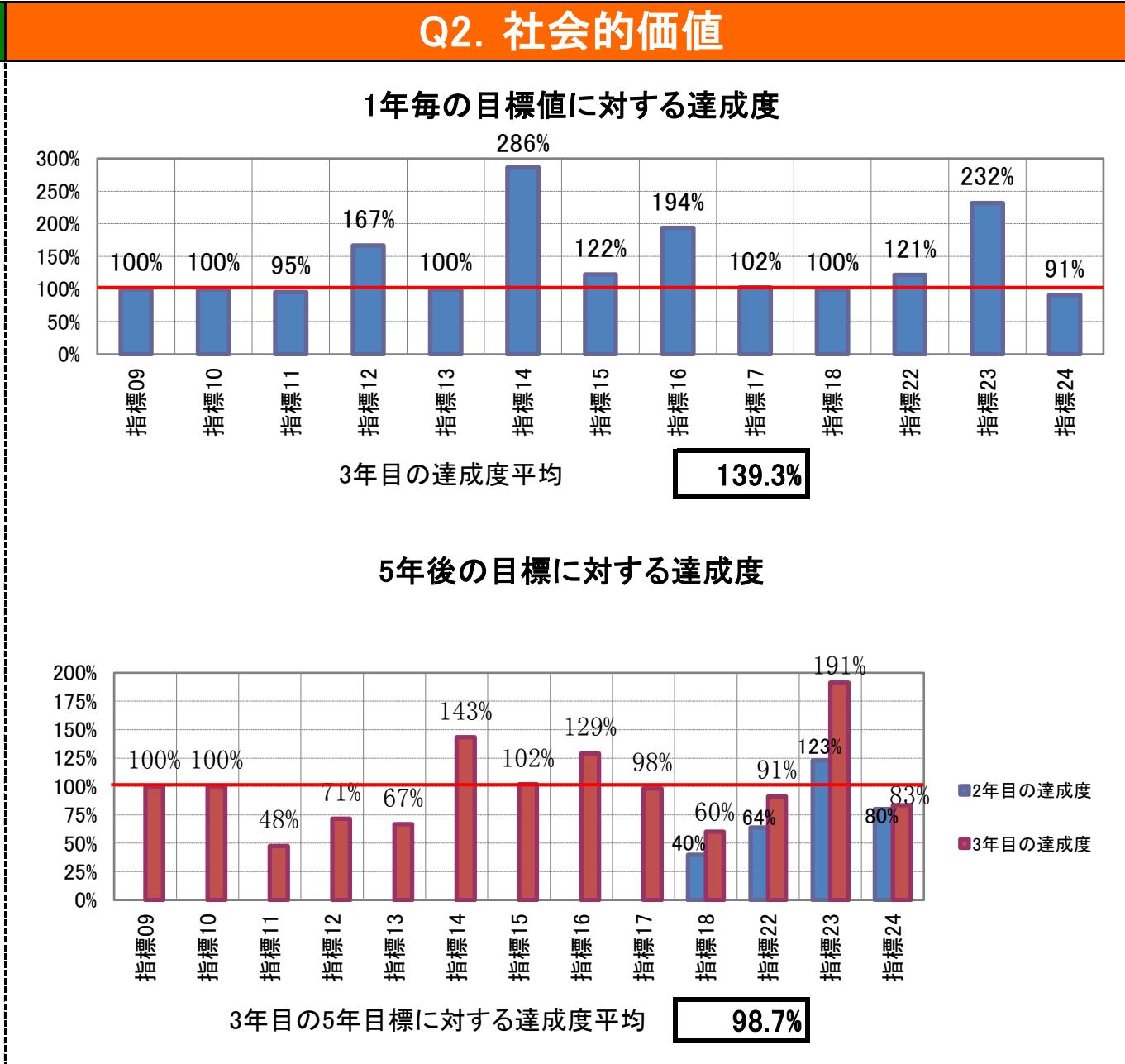
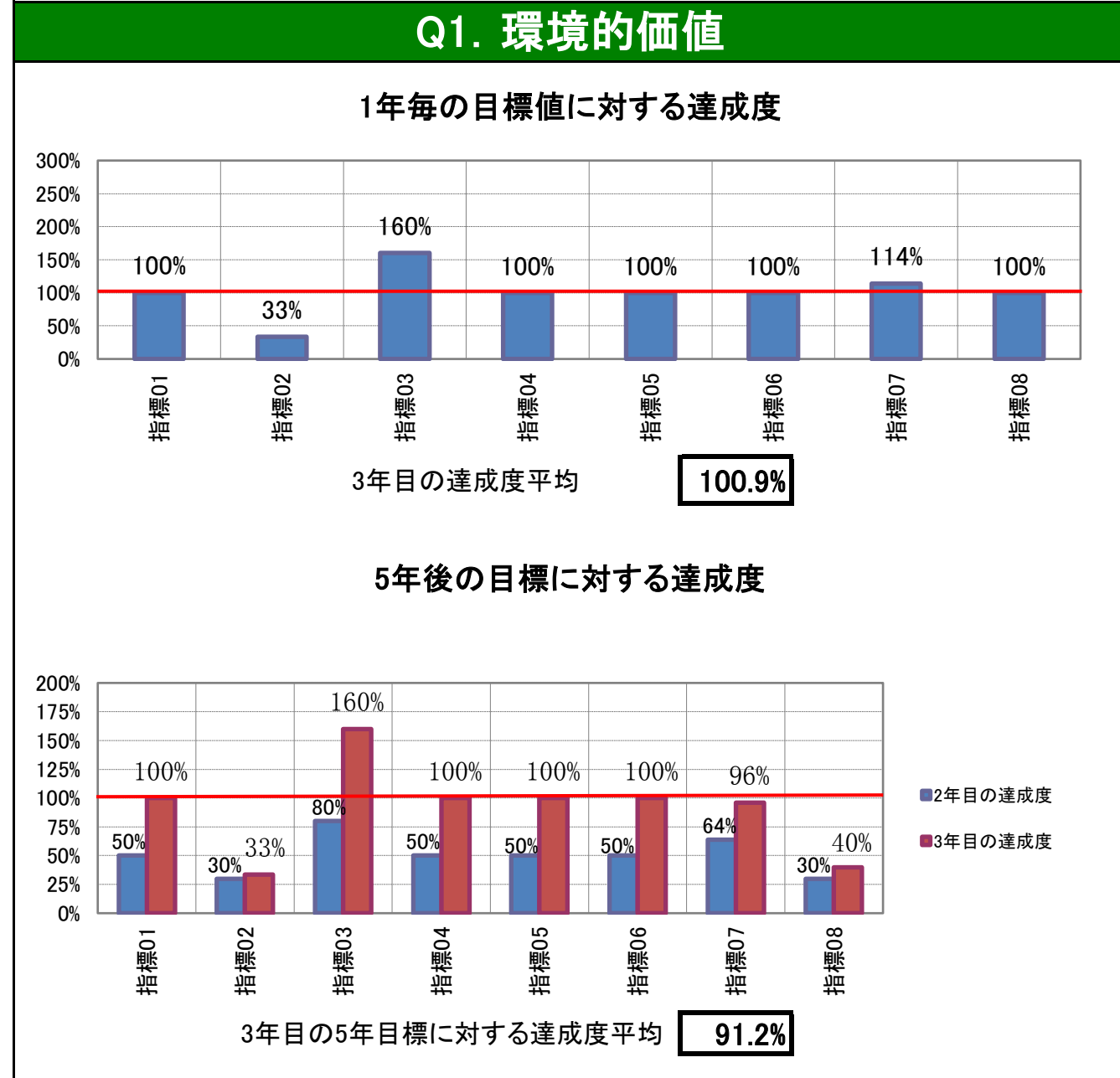


千葉県 柏市	人口: 406,835人(平成27年3月末現在)
	世帯数: 176,533世帯(平成27年3月末現在)
	就業人口: 188,536人(平成22年10月末現在)
	面積: 114.74km ² (うち森林面積1.12km ²)

取組進捗評価結果(都市による自主評価に基づく達成度)



指標番号	指標名
指標01	駅周辺5街区のエネルギー管理・節電ナビゲーションを行う『柏の葉・AEMSセンター』のインターフェイスシステム整備
指標02	スマートメーター導入戸数
指標03	カーボンオフセット協賛企業
指標04	再生可能エネルギー地産地消システムの構築
指標05	148街区における大規模ガス発電機の配備
指標06	非常時における街区間電力融通
指標07	次世代交通システム利用者
指標08	柏ITS情報センターの設立
指標09	健康未来都市かしわ宣言
指標10	まちの健康研究所施設数
指標11	まちの健康研究所
指標12	特例措置による訪問リハビリステーション事業所数
指標13	特例措置による歯科衛生士事務所数
指標14	特例措置による訪問リハビリステーションの訪問リハビリ実施件数
指標15	柏市内の訪問リハビリ実施件数
指標16	特例措置による歯科衛生士事務所の口腔ケア実施件数
指標17	柏市内の口腔ケア実施件数
指標18	元気高齢者が地域で活躍できるコミュニティ構築～東京大学高齢社会総合研究機構・監修～
指標19	エンジェル税制活用件数(大学・研究機関発ベンチャー企業)
指標20	TEPによる柏市内ベンチャー企業の支援者数
指標21	アワード開催回数
指標22	地域カホイントプログラム加入者数
指標23	実証実験の市民モニター数(人)
指標24	フィールド型研究・実証実験数(件)
指標25	ネットワーク参画機関数
指標26	海外視察団体数

Q4. 特記したい事項(国際展開・都市間連携等)

・平成27年1月29日に「日中スマートシティー交流会議in柏の葉」が開催された。中国国家発展改革委員会城市・小城镇改革发展センター(CCUD)を中心とする政府・地方政府・関連団体・企業の関係者が柏の葉を視察。柏の葉モデルをPRLした。

平成26年度の取組総括

・取組01を始めとする環境共生の大型事業が本格運用を開始。達成度が大きく前進した。また、市民モニター数(指標23)や海外視察団体数(指標26)等の指標において、高水準の維持が引き続き確認できる。

・事業内容や評価指標を大幅に見直した取組08についても順調に進捗しており、さらに市民の参画が伸びるよう情報発信を行っていく。

委員からの取組全体に関する評価

別紙参照

委員からのコメント【柏市】

○達成率が異常に良いが、これは柏市全体の実績か、柏の葉キャンパスの実績かよくわからない。エネルギーは定性的だが、本当は定量的であるべき。取組進捗評価結果の社会的価値について、特区と同じ資料で重複している。総じて柏の取組項目は細かく評価しすぎだ。アントレプレナーシップ・アワードなど創業育成はすばらしい。

○先進的な成果は上がっているが、全市に展開する構想が見えない。

○TX沿線以外での展開をもう少し見えるようにしていただきたい。指標の代表性について再検討してほしい。

○UDCKのしくみが評価できる。取組の可視化、住民インセンティブがうまい。市の取組みなのか企業の取組なのかが不明の部分が多い。

○スケールの割には進展度が見えにくい。

○各分野での取組の進捗が具体的に認められる。また、成果の発展についてもしっかりと行っている。公民学連携により地域発展の良いモデルとして期待できるが、市全体の進捗が見えない。

○目玉となるキラーコンテンツが特定されていないように感じる。中核コンセプトとなるような具体的な「目玉」取組がほしい。

○柏の葉に限定していえば、駅周辺5街区のAEMS本格稼働により、環境、BLCM両面でレベルが一段と上がった点は評価できる。他方、引続き市の努力のアウトカムと他の成果とが混在している点は課題。より市の努力が見えるように期待する。

○不動産会社の開発プロジェクトに終わらせることなく、市民を積極的に巻き込んだ活動を進めていることは大変高く評価したい。また、新産業育成に活力し成果を出している点は、他都市のモデルともなりうる。柏の葉キャンパス以外への波及にも努力頂けるとよい。

○ゲートスクエア施設が完成するなど全市展開が進捗していることが推定されますが、駅前街区外に展開していることを客観的に説明する指標の検討が必要であると感じます。環境価値の指標についてはより定量的な評価が可能であり、社会的価値については総合特区ほど細かくみる必要はないのではないかという印象です。

○柏の葉は達成していると感じている。しかしながら、そのプレゼンにおいて、ネガティブな情報が省かれているようにも感じている。柏市のアピールを感じない。柏の葉自体が一企業のアピールになっているとしか思えない。柏市が現在どう変化しているのか、今後どう変化していくのかを知りたい。

○柏の葉から柏市全域への広がりがまだ弱い指標も分母が柏の葉となっているものもある。

環境未来都市 PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリスト

作成日: 平成27年5月22日
 作成者(部署/氏名): 柏市企画部企画調整課/高木 貴子
 承認者(部署/氏名): 柏市企画部/岩崎 克康

確認事項	チェック項目	確認根拠	確認	是正処置
①環境未来都市計画及び目標の策定	環境未来都市計画の各取組に中長期(5年後)および単年度(1年後)の目標が設定されている。	環境未来都市計画書	✓	
	全ての目標値は定量的に評価できる。定量的に評価できない目標値は、その進捗を計測する代替手段がある。	環境未来都市計画書	✓	
	全ての取組においては責任者が定められており、明文化されている。	環境未来都市計画書	✓	
②実施体制の構築	構成員間の役割分担・責任分担が明文化された体制図が作成されている。	環境未来都市計画書	✓	
	部局間、事業間の連携を図るために仕組みづくり(会議運営等、各都市で具体的な内容を明記)が検討されており、かつ実行されている。	環境未来都市計画書	✓	
③都市間連携・ネットワークの有効活用	(都市名と具体的な連携内容記載)に関して連携をしている、もしくは今後連携を予定している。	環境未来都市計画書	✓	
	成功事例を他へ展開するために具体的な仕組みを構築している、もしくは今後構築を予定している。	環境未来都市計画書	✓	
④関係者の参画	全体計画の立案から、その実行、見直しの全てのフェーズにおいて関係者が参画している。	環境未来都市計画書	✓	
	環境未来都市計画において各取組に参画が必要な関係者が特定されており、明文化されている。	環境未来都市計画書	✓	
⑤関連文書の記録・作成	文書の作成者、承認者が決まっている。また文書・記録の管理を実施する責任者が決まっており、明文化されている。	環境未来都市計画書	✓	
	作成された文書・記録の保管場所・保管期間が決まっており、関係者に周知徹底されている。	文書管理表	✓	
	ウェブサイト等のICTを活用した情報開示を行っている。	柏市等ホームページ	✓	
⑥取組状況の定期的な確認並びに問題の是正および予防	計画の中で、定期的(2回/年)に「取組評価」の自主評価が明文化され、かつ実行している。	環境未来都市取組個票	✓	
	定期的(2回/年)な自主評価の結果、目標の達成が難しいと判断された取組に対しては確実に是正処置を施すよう、その確認をする責任者が決められている。	環境未来都市取組個票	✓	
	計画の中で、毎年PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリストの自主評価が明文化され、かつ実行している。	環境未来都市取組個票	✓	
⑦代表者による全体の評価と見直し	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。	環境未来都市評価シート	✓	
	代表者による全体評価において評価すべき項目が決められている。	環境未来都市評価シート	✓	
	前回の代表者による全体評価での指示事項は全て実行されている。	環境未来都市評価シート	✓	
⑧その他	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。	環境未来都市評価シート	✓	

是正処置への対応の詳細

- (1)市民の参画
 ・地域で管理する西口公共空間で毎月行われるマルシェには、子育て層からシニアまでの市民が出店している。
 ・「あ・し・た」の運営スタッフは、シニアを中心としたボランティアで構成されている。
- (2)全市展開
 ・「あ・し・た」モデルを全市展開するため、まずは「あ・し・た」による健康講座を他地域で実施した。
 ・まちづくり拠点である「UDC2」が、中央地域に設置された。

代表者による確認

公民学連携で進める柏の葉の取組について、ハードの整備については企業の姿が目立ちがちであるが、ソフト面での運営については、UDCKを中心に大学関係者や市民(NPO)、そして市も連携して進めている。
 また全市展開については、市が主体的に進めている。地域医療推進室が新たな形でのトータルヘルスケアの実現を検討しており、また都市部で「UDC2」の中央地域展開が進められた。

推進委員会による確認

特にご意見なし